

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-1
医療機能の確保

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

薬事衛生課長 柳 俊徳

電話番号

0852-22-5257

事務事業の名称	在宅医療の推進事業	
目的	(1) 対象	薬剤師
	(2) 意図	薬局が在宅医療に携わることを推進する。
事業概要	患者やその家族等に対する薬局の役割・機能の周知や、医療・介護関係者に対する薬局・薬剤師の応需状況等の情報提供等を行い、在宅患者へ最適な薬物療法が提供できる体制の強化を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定回数の伸び率（国保分）	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	%
		取組目標値						
	式・定義 (当年の算定回数-前年の算定回数)÷前年の算定回数×100	実績値		30.6				
		達成率	-	612.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	295	300
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

・在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定回数は大きく増加しているが、一方で地域差が見られる。
 ・患者を在宅医療に移行させたい病院の医師、在宅医療を実施する診療所の医師、患者の看護にあたる家族又は訪問介護を推進しようとする者にとって、どの薬局がどのようなサービスを提供し得るのかわかっていない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

地域別に、松江版、出雲版、中部・東部版、西部版の計4種類の冊子を作成し、医療機関や地域包括支援センター等の関係機関へ配布した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

在宅医療に携わる薬局が少ない。

②困っている状況が発生している「原因」

人員体制などの問題から在宅医療に携わる薬局が少なく、どの薬局がサービスを提供し得るかわかりにくい。

③原因を解消するための「課題」

在宅医療に携わる余裕を生むだけの薬剤師数の確保と医療機関等への情報周知

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

薬剤師確保については、別事業で対応。
 医療機関等へは引き続き周知を図り、合わせてより効率的な方法を検討する。H30年度以降は別事業で周知を図る。